

日時

令和5年10月29日(日)

13:00~16:30 (12:30より入場開始)

会場

くまもと県民交流館パレア
パレアホール

〒860-8554

熊本市中央区手取本町8番9号

テトリアくまもとビル10階

落合芳幾筆「太平記英勇伝 小西摂津守行長」1867年(部分)

九州文化財研究所創設30周年記念シンポジウム

関ヶ原合戦と九州の大名 どうする九州!?

落合芳幾筆「太平記英勇伝 加藤主計頭清正」1867年(部分)

登壇者

基調講演 1

中野 等氏

(九州大学大学院教授)

基調講演 2

渡邊 大門氏

(株式会社歴史と文化の
研究所代表取締役)

シンポジウム

白峰 旬氏

(別府大学教授)

パネリスト

山田 貴司氏

(福岡大学准教授)

主催：九州文化財研究所

後援：熊本県、熊本県教育委員会、熊本県文化財保護
協会、熊本日日新聞社、RKK(熊本放送)、熊本
史学会、熊本歴史学研究会



関ヶ原合戦と九州の大名 どうする九州!?

関ヶ原合戦について、これまで、その戦闘の展開が注目され、軍記物や編纂史料によって東軍と西軍に二分された描写が強調されてきました。このため、今なおこの戦いは二項対立論的な観点で解釈されています。

九州地域においても同様です。しかし、加藤清正の行動について見ていくだけでも、「細川の味方として木付（築城を加勢する）」として「東軍」に分類されますが、その意図は検討の余地があります。

本シンポジウムでは、関ヶ原合戦における諸大名の行動原理を深く掘り下げ、単純に東軍・西軍に二分分割するのではなく、九州地域における諸将の動向を具体的に描き出すことを目指します。専門家の研究と議論を通じて、歴史的な出来事の多面的な解釈、新たな視点から関ヶ原合戦とその影響について理解を深めていきます。

基調講演 1	基調講演 2	パネリスト	パネリスト	進行
中野 等氏 九州大学大学院教授	渡邊 大門氏 株式会社歴史と文化の 研究所代表取締役	白峰 旬氏 別府大学教授	山田 貴司氏 福岡大学准教授	花岡 興史 九州文化財研究所 研究部長

福岡県生まれ。九州大学大学院中退、博士（文学）。柳川古文書館学芸員を経て現職。専門は中近世移行期で、戦国時代から江戸時代の前期を対象としており多くの著作を持つ。豊臣秀吉、黒田長政や立花宗茂などに関する研究成果をあげている。	神奈川県生まれ。仏教大学大学院博士課程修了、博士（文学）。早稲田大学エクステンションセンター講師なども務める。中世から近世が専門で、学術論文から一般向けの歴史書まで、多方面に向けて多数の著書を発表している。	三重県生まれ。上智大学大学院博士前期課程修了。名古屋大学にて博士（歴史学）の学位を取得。近世城郭の研究からはじまり、現在は関ヶ原合戦の研究において新たな指摘を多数行っている。今回はリモートによる参加。	福岡県生まれ。福岡大学大学院中退、博士（文学）。熊本県立美術館主任学芸員を経て現職。南北朝時代から江戸時代初期にかけて地域権力論などを研究。また、美術館学芸員時代に「加藤清正展」を担当している。	熊本県生まれ。九州大学大学院博士課程修了、博士（比較社会文化）。高校教員から九州大学学術研究者、経済産業省専門員などを歴任し現職。専門は中世から近世への移行期で、豊臣秀吉文書の発見などを行う。
---	---	--	---	--

令和 5 年 10 月 29 日（日） 13:00～16:30（12:30 より入場開始）

於 くまもと県民交流館パレア パレアホール

〒860-8554 熊本市中央区手取本町 8 番 9 号テトリアくまもとビル 10 階

参加無料



くまもと県民交流館パレアには提携の駐車場がないため、近隣の駐車場または公共交通機関をご利用ください。

申込方法

事前申込受付は令和 5 年 10 月 2 日迄（当日消印有効）はがき、ファックスまたは電子メールで、①郵便番号・住所、②氏名・ふりがな、③電話番号、④参加人数（2 人まで）を明記の上、下記お問合せ先までご送付ください。当選者の発表は当選はがきの発送をもって代えさせていただきます。また、車椅子を利用している方、足腰が不安な方、目や耳が不自由な方は事前にご連絡いただけますと幸いです。

お問合せ先

〒862-0954 熊本市中央区神水 1 丁目 32-19
九州文化財研究所「関ヶ原シンポ」係
TEL 096(381)2267 FAX 096(381)2299
MAIL 30th@kyubunken.jp
WEB <https://kyubunken.jp/30th/>

主催 九州文化財研究所

後援 熊本県、熊本県教育委員会、熊本県文化財保護協会、熊本日日新聞社、RKK（熊本放送）、熊本史学会、熊本歴史学研究会



特設 HP からの
申込も可能！

X(Twitter) も
やっています
@kyubunken



X(Twitter)